

# 報 告 書

(委 員 会 名) 総務民生常任委員会

(視 察 日) 令和5年10月18日(水)

(視察先都市名) 神奈川県藤沢市

(視 察 項 目) 藤沢サスティナブルスマートタウン

(内 容) 報告者 大石修平

(1) 藤沢 SST のプレゼンテーション、コンセプトヒアリング
(2) 実証実験中の遠隔操縦ロボットの先導によるまち歩き
(3) CO2 排出の収支がトータルでマイナスとなる最新モデルハウスの見学
(4) 質疑応答
<b>【概要】</b>
560戸すべてに太陽光パネル、蓄電池、エネファーム、HEMS を備えて各戸エネルギーマネジメントを行いつつ、まち全体でもコミュニティソーラーの設置やカーシェア、郵便物の集中配送を行い、地域としてCO2排出削減や再エネ利用の目標数値を掲げ、まちのコンセプトに共感できる環境意識の高い住人が集う仕組みを構築している。災害に備えたまちづくりができており、その設備の点検や訓練を兼ねた交流イベントを行ったり、住人専用ポータルで普段から交流が起こるなど、藤沢 SST としての一体感が生まれる工夫が随所に存在する。また、この10月からちょうど自動配送ロボットの実証実験が開始されており、遠隔地から当該ロボットを操作しながら街歩きの案内を受けることができた。
<b>【考察・感想】</b>
住宅価格がかなり高額であるにも関わらず、子育て世代を中心に全区画が完売し、空きが出てもすぐに埋まるほど魅力的な街となっている。敦賀で同じ規模の取組みを行うことは難しいかもしれないが、将来京都大阪までが通勤圏内に入ることを見据え、人口減対策の一環として市内にモデルタウンを構築し、市内外へアピールしていくことで、人を呼び込む手法になり得ると考える。

\* 1市(県・町・村・施設)ごとに、1枚作成(2ページにわたっても可)

\* 視察先ごとに、考察・感想を加えてください。